

一期一絵・・・

SILKLAND

gallery news & communication

No.104

ギャラリー通信

June 2017

<http://www.silkland.co.jp>



《紅い花と流れ星》F10

— 愛しきものへ —

杉本 澄男 展

Sumio S

2017年6月11日(日) — 25日(日) 作家来場: 6/16(金), 17(土), 18(日) 午後1時から5時

※最終日は午後5時まで

ごあいさつ

北国を拠点に制作を続ける作家にとって、巡りくる春から芽吹き季節にかけての自然の姿には、命宿るあらゆるものへの感動がほとばしるという。そんな想いを込めて描く草花や夢見る女性像、そしてわんぱくな子供たちや愛猫などから、遠い記憶をくすぐるような作品が展観します。当画廊3回目となる今展も、独自のマチエールを生み出すために時間をたっぷり注いだ力作を集めて約30点余の油彩をご紹介します。ぜひこの機会にご高覧ください。

2017年6月

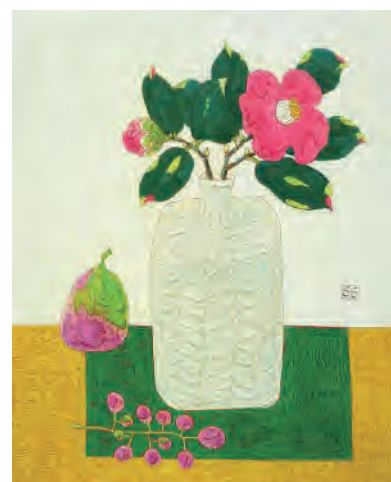
シルクランド画廊



《瓜と子ども》S15



《カトレア》S15



《椿と果実》F3



《バラを持つ女（ひと）》F6



《花と横たわる女（ひと）》F15



《二匹の猫》F4



《浜辺のはまなす》F8

杉本 澄男 Sumio Sugimoto

1948年 静岡生まれ
 1971年 岩手大学特設美術科卒
 1976～79年 新制作協会展入選
 1977年～
 全国各地の有名百貨店画廊にて個展開催
 1978年 小泉賞受賞
 1985年 裸婦デッサン集刊行
 1989年 銀座大賞展入選
 1990年 岩手県優秀美術選賞受賞
 2012年 千葉松山庭園美術館賞受賞
 2013,2014年 シルクランド画廊個展



Information
 展覧会情報

※7/3-8 常設展



稲村 時夫《円覚寺・夏》P10

6/26 - 7/2
 第二回稲村時夫展

古都鎌倉の魅力に惹かれて、そのゆったりと流れる時間をキャンパスに表した油彩と鉛筆画をご紹介します。



中司 満夫《天空の村・ゴルド》M6

7/9 - 22
 写実画二人展

中司満夫、奥江一太、同じ年に生れ同じ京都市立芸大で学んだ二人の写実画家が描く風景と静物の油絵をご紹介します。



《初夏》F10



《親子猫》F3



《泳ぐ子どもの絵壺にぎくろ》F6

メッセージ

子供の頃、象が台の上に乗って日の丸の旗を振っている絵を描き、上手、上手とおだてられ、小学校では常に絵が張り出されておりました。

それで人より少しは絵が上手いのかな、と意識する様にもなりました。

母の顔を真っ黒に描き、嘲笑の中、先生が褒めて下さった事も忘れられません。

中学生になって、楽とは言えない生活の親に、無理を言って油絵具を買ってもらい、山や川、港などに行って絵を描く事がとても楽しかった。時を経て輝きを失いつつある事柄も、はっきりとしたイメージとなり今も宝物のように蓄積されています。

年月を重ねてもあの頃のように、思う存分楽しく描けたら・・・と絵筆を握っています。

杉本 澄男

Sumio S



アトリエで制作中の作家

シルクランド画廊 開廊時間:11:00→19:30(土・日・祝日は18:30まで)

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

http://www.silkland.co.jp e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,B9,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

